

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	都市計画図修正業務事業			会計	款	項	目	大	小
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	都市計画課					
施策	1-3	個性ある公共空間・歴史環境の形成と保全	主管課長	長橋 祐之					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内全域	意図	市民等へも最新の地図情報を提供することができ、市民サービスの向上に資することができる。
事業内容	都市計画基礎調査のベースとなる地形図を、航空写真を基に概ね5年ごと更新し、地図情報を最新のものとする。			
事業開始から現在までの状況変化	都市計画基礎調査のベースとなる地形図を、航空写真を基に概ね5年ごと更新する事業であるが、委託費が高額であることや、土地区画整理事業における道路等の整備状況も踏まえながら作成する必要があったことから、平成17年度以降変更できていなかった。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	都市計画図販売			67	
②	白図販売			13	枚	↑↑↑	
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度	白図作成		
事務事業の総コスト(a=b+c)				14,733,200	1/10,000白図（A0判）500部		
事業費（b）（円）				11,437,200	1/25,000白図（A3判）500部		
うち一般財源				11,437,200	1/2,500白図（B1判・24分割）1部		
職員給与費（c）（円）				3,296,000	1/2,500白図（B1判・24分割・観音製本）2部		
人役・職員（人）				0.50			
人役・再任用（人）							
人役・臨職（人）							
人役・嘱託（人）							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画 (Plan)	新規事業により記載なし	③取組における課題 (Check)	土地区画整理事業が完了していない地区については、道路の整備状況等が反映されていない。
②H30に実施した取組(Do)	新規事業により記載なし	④課題に対する今後(H31～)の改善計画 (Action)	全ての土地区画整理事業が完了した段階で、再度、都市計画基本図を作成していく。